



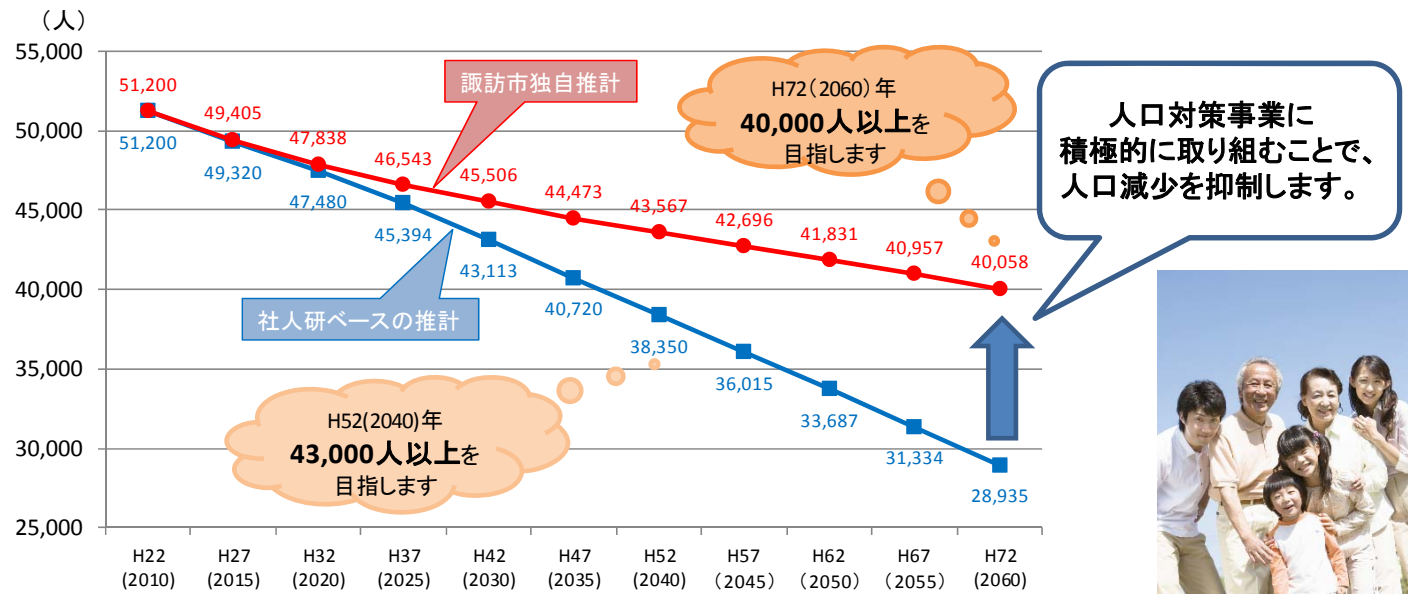
「諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、諏訪市の人口の現状を分析し、今後目指すべき方向性と人口の将来展望を示した「人口ビジョン」に基づき、少子化と人口減少の克服に向けて、将来にわたり活力ある諏訪市を維持していくため、必要となる基本的な目標や方向性を定め、具体的な施策を提示するとともに客観的な指標を定めた戦略です。

◆ 諏訪市の人口目標

基本コンセプトの実現を目指し、自然増・社会増に資する様々な人口対策事業に積極的に取り組むことで、諏訪市の人口目標を実現します！

諏訪市が目指す人口目標値

平成72（2060）年：4万人以上
平成52（2040）年：4万3千人以上



目指すべき将来の方向性

方向性1

地域産業の振興により、諏訪市に安定した雇用を創出する

- ・各種産業の発展、新事業創出や集積
- ・「雇用の質」の確保
- ・誰もが就業・創業しやすい環境づくり

方向性2

諏訪市への人の流れをつくり、人口流出を抑制する

- ・若年層の大都市圏等への人口流出抑制
- ・大学等卒業後のUJターン促進
- ・魅力あるまちづくり、魅力的な働く場の確保

広域連携による
諏訪圏域全体の底上げ

方向性3

若い世代の結婚・出産・子育て支援により、子どもを増やす

- ・安心して働くことができる環境整備
- ・結婚・出産の希望の実現
- ・子育ての切れ目のないサービスの実現

方向性4

地域の魅力を磨き上げ、「輝くSUWA」を創生する

- ・防災対策や医療、介護の充実
- ・中心市街地の活性化
- ・快適な居住・生活環境の提供

人口ビジョン（1）

諏訪市の人口の現状を分析し、様々な仮定の下での将来人口推計を行い、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示します。

◆ 国の人口見通し

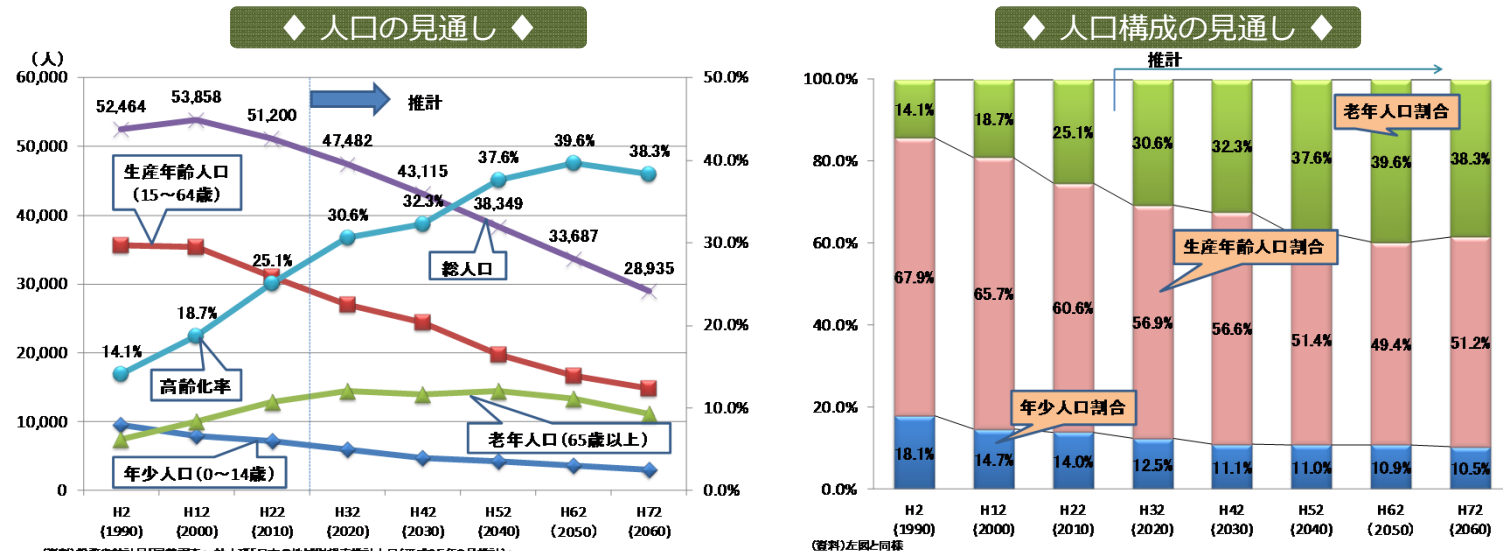
日本の人口は、平成20（2008）年をピークとして人口減少局面に入っており、今後加速度的に進むことが予想されています。国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」といいます。）による「日本の将来推計」では、平成22（2010）年に約1億2,800万人だった日本の人口は、2020年代初めは毎年60万人程度の減少ですが、2040年代頃には年100万人程度の減少にまで加速します。そして、平成72（2060）年には約8,700万人まで減少するとされています。

◆ 諏訪市の人口見通し

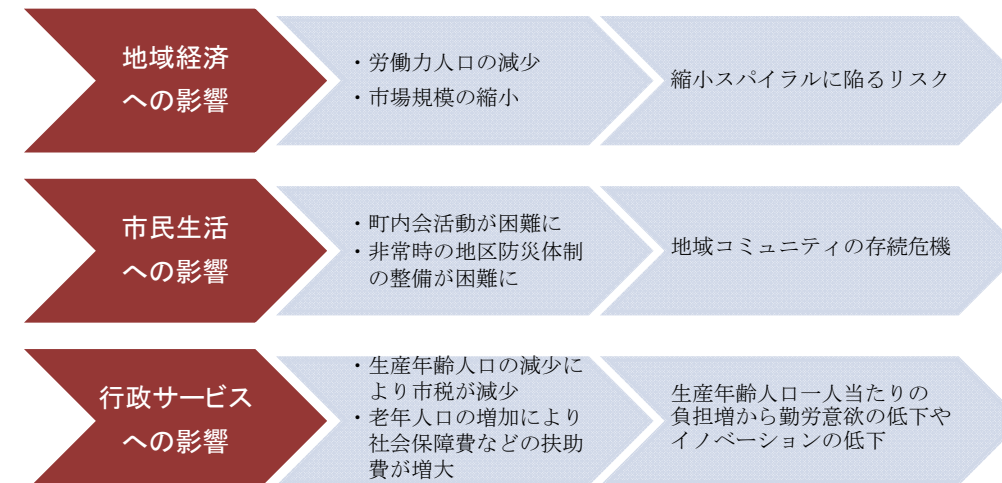
人口減少は諏訪市においても例外ではなく、平成26（2014）年には37年ぶりに人口5万人を下回りました。社人研ベースの推計によると、平成52（2040）年には人口4万人を下回り、このペースで人口減少が続いた場合、平成72（2060）年には人口3万人を下回ることが予想されます。

平成72（2060）年には、平成22（2010）年に比べて、人口は4割強減少・生産年齢人口割合は約9ポイント低下！※

※社人研ベースの推計による。人口構成は、総人口に占めるそれぞれの人口の割合



人口減少及び人口構成の変化がもたらす地域への影響



諏訪市から転出する人が増え、マイナスの影響が一段と深刻化

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～最先端に挑み続ける「ものづくり」で「ひとづくり」「輝くSUWA」の創生戦略～

対象期間：平成27（2015）～平成31（2019）年度

基本コンセプト

- 1 「ものづくり」を基軸とした地域性を礎に「可能性」を未来につなぐ取組
- 2 市民一人ひとりのライフステージにおける「希望」を実現する取組

「輝くSUWA」の創生

「御柱祭」のように
四本の柱が並び立つことで、
「輝くSUWA」の創生を目指します！

諏訪市だけでなく、
諏訪地域6市町村が連携することで、
諏訪圏域全体の底上げを図ります！

行政だけでなく市民の皆さんや
企業等が一丸となって、
ともに知恵を出し合い、
取組を進めていきましょう！

三之柱
若い世代の「希望」を実現、
「ひと」を育てる「まち」の創生

四之柱
誰もが安全・安心・安定して
暮らせる、個性が輝く
「まち」の創生

二之柱
「行ってみたい」、
「戻ってきたい」、
「住んでみたい」と思える
「まち」の創生

一之柱
魅力的で安定した
「しごと」ができる
「まち」の創生



写真提供：諏訪地方観光連盟

《数値目標》

- 合計特殊出生率 1.74 (H31年)
- 自然増減数 △670人 (5年間累計) に抑制
- 学校教育に対する市民満足度 向上 (H31年)

《主な取組》

1 「結婚したい！」希望をかなえる

地域ネットワークを活用した結婚支援、未婚者を対象としたイベントやセミナーなど

2 「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる

妊婦健康診査費用助成、子育て世代包括支援センター設置、父親向け子育て講座など

3 「子育てしたい！」希望をかなえる

市独自の保育認定基準設定、未満児保育への対応、保育料の多子世帯軽減など

4 「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる

ものづくり教育推進、国際理解教育拡充、不登校・いじめなどの対応強化など

5 「働き続けたい！」希望をかなえる

女性の復職・再就労支援、ワーク・ライフ・バランスへの意識啓発など

主な重要業績評価指標 (KPI)

- 婚活イベント、セミナーへの参加者数 130人/年度
- 父親向け子育て講座受講者数 100組 (H31年度)
- 保育所の待機児童数 0人 (H31年度)
- 「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒数割合 90.0% (H31年度)
- 「くるみん」認定企業数 3事業所 (H31年度)

《諏訪地域6市町村の連携による取組》
◇諏訪広域連合による婚活支援事業

《数値目標》

- 防災対策に対する市民満足度 向上 (H31年)
- 健康づくりに対する市民満足度 向上 (H31年)
- 生涯学習に対する市民満足度 向上 (H31年)

《主な取組》

1 安全・安心な「暮らし」

地域防災体制の強化、地域福祉の体制充実、障がい者の自立・就労支援など

2 みんなで支えあう「暮らし」

区・自治会の課題解決支援、事務事業評価への外部評価導入など

3 快適・便利な「暮らし」

駅周辺市街地あり方検討、公共交通網の維持確保、再生可能エネルギーの活用など

4 生きいき、元気な「暮らし」

健康づくりへの意識啓発、地域包括ケアシステム構築、高齢者の介護予防推進など

5 学べる、感じる「暮らし」

ふるさとや地域を学ぶ学習機会充実、生涯スポーツの推進など

主な重要業績評価指標 (KPI)

- 自主防災組織の組織率 100% (H31年度)
- 外部評価制度の導入 H31年度までに導入
- 駅前市民交流スペースの設置 H31年度までに設置
- 特定健康診査受診率 60.00% (H31年度)
- 生涯学習課主催の講座延べ参加者数 15,000人 (H31年度)

《諏訪地域6市町村の連携による取組》
◇諏訪湖環境改善推進事業

《数値目標》

- 社会増減数 △942人 (5年間累計) に抑制
- 生産年齢人口 27,300人 (H31年)
- 観光客入込数 640万人 (H31年)

《主な取組》

1 「知っている」から「行ってみたい」まちへ

広域観光ネットワーク形成、シティプロモーションの推進、ふるさと寄附の活用など

2 「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ

奨学金貸与制度の拡充、若年層のUターン支援、郷土愛を育む教育など

3 「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ

諏訪圏域単位の移住相談窓口設置、空き家バンクの利活用促進、諏訪版CCRC検討など

主な重要業績評価指標 (KPI)

- 宿泊者数 580,000人 (H31年)
- 奨学資金の大学生貸与者のうち、卒業後の諏訪市居住者の割合 67% (H31年度)
- 移住セミナー等での相談者数 100人/年度

《諏訪地域6市町村の連携による取組》
◇ビーナスラインを基軸とした広域観光による地域活性化事業
◇信州シルクロードを核とした広域観光連携事業
◇諏訪地方観光連盟による観光事業 など

《数値目標》

- 市内事業所従業者数 28,000人 (H31年)
- 市内民営事業所数 3,500事業所 (H31年)
- 製造品出荷額等 800億円 (H31年)

《主な取組》

1 魅力的なしごと～Attractive Job～をつくる

企業誘致・創業支援、インバウンドの強化、観光プロモーション、インターンシップの促進など

2 創造都市～Creative City～をつくる

「SUWA」ブランド創出、クリエイティブ人材の誘致促進、空き店舗の活用など

3 新たな価値～New Value～をつくる

販路拡大支援、産業間連携の促進、諏訪圏工業メッセ開催支援、地域金融機関との連携強化など

主な重要業績評価指標 (KPI)

- 製造業の従業員数（従業員4人以上の事業所） 4,415人 (H31年)
- 産業連携プロジェクト地域外参画事業者数 20者 (H31年度)
- 「SUWAプレミアム」取扱商品数 150点 (H31年度)

《諏訪地域6市町村の連携による取組》
◇諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業
◇NPO諏訪圏ものづくり推進機構支援事業
◇合同就職説明会開催事業